

デザイナーのための経済コラム(68)

コミュニティ空間の呼称多様化、コンセプトの多様化

漢字の「村ソ」は木と寸との組み合わせからできています。「村」の字は自然の木、森林に人間の手を加えることから、人との集まり、集落を意味すると言われます。やまと言葉の「むら」は(ひと)が群らがる、群れることから漢字の「村」を当てるようになったと思われま

漢字の「町チヨウ」は田と丁との組み合わせからできています。「町」の字は耕作地の田と長さの単位の下から出来て、飛鳥時代から行政の区画単位として使われていたと言われます。やまと言葉の「まち」の語源は「ま(間)」「ち(路)」、田と田の間の道とも言われます。また、奥行、幅という意味にもなっています。

集落、村、町は地理的な空間を指す言葉で、英語、フランス語、ドイツ語にも対応する言葉があります。

人間の集まる空間の呼び方とは別に、人間が集まり、人間関係ができると、その関係を社会と言っていますが、日本語の「社会」は幕末、明治時代に英語のsocietyの訳語として、中国の宋代の書物『近思録』の「郷民為社会」からの流用ようです。

やまと言葉で「社会」に対応する言葉を探すと、「よ」、「よのなか」かと思えます。「世間」もあるかと思えますが、これは仏教用語の漢訳を江戸時代に流用したものと思えます。⇒local(英語)の語源

society を「仲間」や「世間」と訳さずにどうして「社会」と訳したのか。「社会」と訳されるsociety と「共同体」、「共同社会」と訳されるcommunity はどう違うのか。訳した人は、似た概念、同じ概念でも新しい感覚、新しい意味を持たせて、その概念を広めようとするには、新しい表現が有効だと考えたのだと思えます。この疑問は言語の背景にある人間集団の心理的、心情的な違いにあるように考えます。society とcommunity の違いを明確に区別しているのがドイツ語かと思えます。

社会学者フェルディナント・テンニース(独・1855~1936)は、社会を2つに分類しました。Gesellschaft(ゲゼルシャフト)を機能集団として定義し、特定の目標達成のために人為的に作られ、人の結合は形式的で、最終的には分離傾向が強い集団と説明しています。Gemeinschaft(ゲマインシャフト)は家族や地域など、血縁や地縁に基づく自然な集団を指します。この関係は感情や信頼が基盤となり、長期的かつ安定的で、個人よりも共同体全体の幸福や調和が優先されることが特徴と説明しています。ゲゼルシャフト、ゲマインシャフトという言葉は高校の社会科で聞いた言葉ですが、その時は、意味についてはよく理解できずに、その後の課題として持ち続けていました。

学生時代にルース・ベネディクトの「菊と刀」、中根千枝の「タテ社会の人間関係」、土居健郎の「甘えの構造」、デビッド・リースマの「孤独な群衆」を先生から勧められて読みました。デザインの仕事には少しは参考になったように思えます。いまでも役に立つのかどうかわかりません。

現役時代に仕事の関係で自分から進んで幾つかの関連団体、協会活動に参加するようになり、多様な人間関係に身を置くことになりました。退職後は協会活動に、地域のボランティア団体活動、地域の自治会活動もするようになりました。現役時代には深く考えていなかった、「共同社会」、「コミュニティ」、「役割」について考え込むことが多くなりました。若い時は親や年長者、先輩に教を乞うたり、指示を仰いだりすればよかったのに、立場が逆転しても、かつての先輩のようにすればいいというわけにはいきません。社会をコンプライアンスというコンセプト・概念が支配しています。デザイン、芸術の分野のコンセプト構築に社会科学の視点で考えて見ました

交通、通信の発達、産業構造の変化、働き方改革によって、特に近年は生成AIの出現によって、ゲマインシャフトもゲゼルシャフトも複層し入り組んでいます。人によって、組織によって人間関係の強弱の使い分けに違いがあります。さらに、国によっても違います。その違いは先述の図書に述べられています。しかし、若くて賢明な人達が日本語で考え、日本語で未来展望を発信しているのを心強く思います。

2024年1月1日時点で日本には1,724村があります。
むら⇒村、群、邑、邨、斑、藩袋のまち⇒奥行
刀剣のまち⇒刃幅

英語: hamlet, village, town
仏語: hamlet, village, ville
独語: Siedlung, Dorf, Stad

中国語の社会⇒宗教集団
society⇒socius(ラテン語)仲間

loka(サンスクリット)⇒世間(漢訳)
loka⇒locus(ラテン語)
⇒local(英語)の語源
(これはT.K.の推測)

新しい酒は新しい皮袋に。
現在も缶ビールのデザインを変えイメージ訴求しています。日本の古い共同社会権益入浜権⇒漁村の制度
入山権⇒山村の制度
取水権⇒農村の制度
座・株⇒町人の組織
株式会社=company(英)
株式会社=gesellschaft(独)
community=gesellschaft
society=gemeinschaft



英語に翻訳されたデータの使用
チャットAI⇒英語(翻訳)

(T. K.)